

## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果について〈資料〉

令和3年5月27日（木）に全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」（以下「全国調査」）について、京都市立学校の状況をお知らせいたします。

毎年度実施されている国語、算数・数学の平均正答率は、小学校及び中学校とも、全国の公立学校の平均（以下「全国平均」）を上回る結果となりました。

### 1 調査の概要

- (1) 実施日 令和3年5月27日（木）
- (2) 対象学年 小学校第6学年，小中学校第6学年，総合支援学校小学部第6学年  
中学校第3学年，小中学校第9学年，総合支援学校中学部第3学年
- (3) 実施教科等
- ① 教科（国語，算数・数学）に関する調査
  - ② 児童生徒質問紙調査 生活習慣や学習環境等に関する調査
  - ③ 学校質問紙調査 学校における指導方法や教育条件の整備の状況等に関する調査
- (4) 実施市立学校数・参加人数

	実施学校数	参加人数
小学校調査	162校（小中学校8校・総合支援学校1校含む）	9,626人
中学校調査	71校（小中学校7校・総合支援学校1校含む）	8,509人

### 2 教科に関する調査の結果について

#### (1) 小学校調査

小学校の平均正答率は、全国平均を国語は5.3ポイント、算数は3.8ポイント上回り、全ての問題で全国平均を上回るなど、良好な結果となっています。また、本調査が開始された平成19年度以降、全国平均を上回っています。

また、無解答率については、2教科とも全ての設問において、全国平均を下回る結果となっており、子どもたちが最後まで諦めずに粘り強く解答しようとする姿勢がうかがえます。

#### ◆公立学校の平均正答率・指数

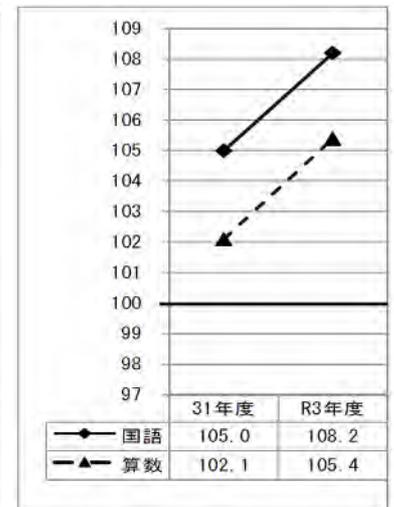
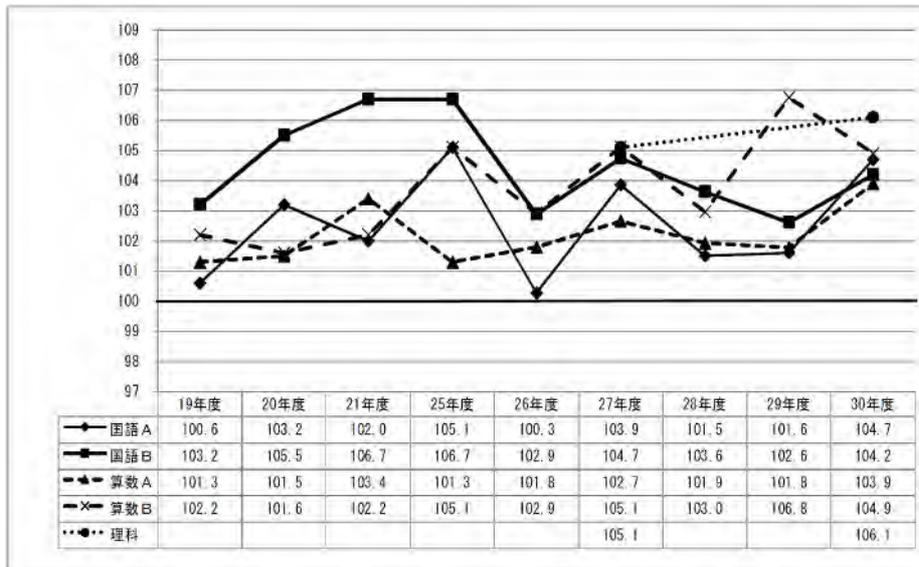
	国語			算数		
	平均正答率	指数	標準偏差	平均正答率	指数	標準偏差
京都市	70 (+5.3)	108.2	3.0	74 (+3.8)	105.4	3.4
全国	64.7	100.0	3.1	70.2	100.0	3.5

※ 指数…全国（公立）の平均正答率を100とした場合の京都市の平均正答率の値

※ 京都市の数値の下の（ ）内は全国値との差

※ 標準偏差…集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。  
標準偏差が0とは、ばらつきがない（データの値が全て同じ）ことを意味する。

## ◆本市の指数の経年変化



- ※ 平成 22 年度、24 年度は抽出調査のため除く。
- ※ 平成 23 年度は東日本大震災のため中止。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症のため中止。
- ※ 理科（小・中）は平成 27 年度以降、3 年に 1 度実施。
- ※ 平成 31 年度（令和元年度）調査より、従来の A・B 問題が統合されたため別表とする。

## ◆分析・問題例

### <国語>

○平均正答率は、全ての問題で全国平均を上回り、全体では 5.3 ポイント上回っています。

○問題ごとで見ると、全国的な傾向と同様、「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること」や「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること」に関する問題が、他の問題と比較すると低い正答率でした。

### 正答率が低かった問題例

#### ■大問 2 説明的な文章を読み、分かったことをまとめる（面ファスナー）

- ・三 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題（記述式）  
正答率 **42.0%**（全国平均 **34.4%**） 無解答率 2.3%（全国平均 4.1%）
- ・四 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる問題（記述式）  
正答率 **35.8%**（全国平均 **29.7%**） 無解答率 3.2%（全国平均 5.5%）

### <算数>

○平均正答率は、全ての問題で全国平均を上回り、全体では 3.8 ポイント上回っています。

○領域別では、全国的な傾向と同様、「図形」において、その他の領域（「数と計算」「測定」「変化と関係」「データの活用」と比較すると低い正答率でした。

### 正答率が低かった問題例

#### ■大問 2 図形の構成の仕方に着目した図形の計量についての考察（三角形や四角形の面積）

- ・(3) 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題（記述式）  
正答率 **50.5%**（全国平均 **46.0%**） 無解答率 2.9%（全国平均 4.6%）

## (2) 中学校調査

中学校の平均正答率は、全国平均を、国語は0.4ポイント、数学は0.8ポイント上回っています。平成26年度以降、両教科において全国平均を上回っています。

さらに、約9割の設問において無解答率が全国平均と同等または下回る結果となっており、子どもたちが最後まで諦めずに解答しようと取り組んでいる姿勢がうかがえます。

### ◆公立学校の平均正答率・指数

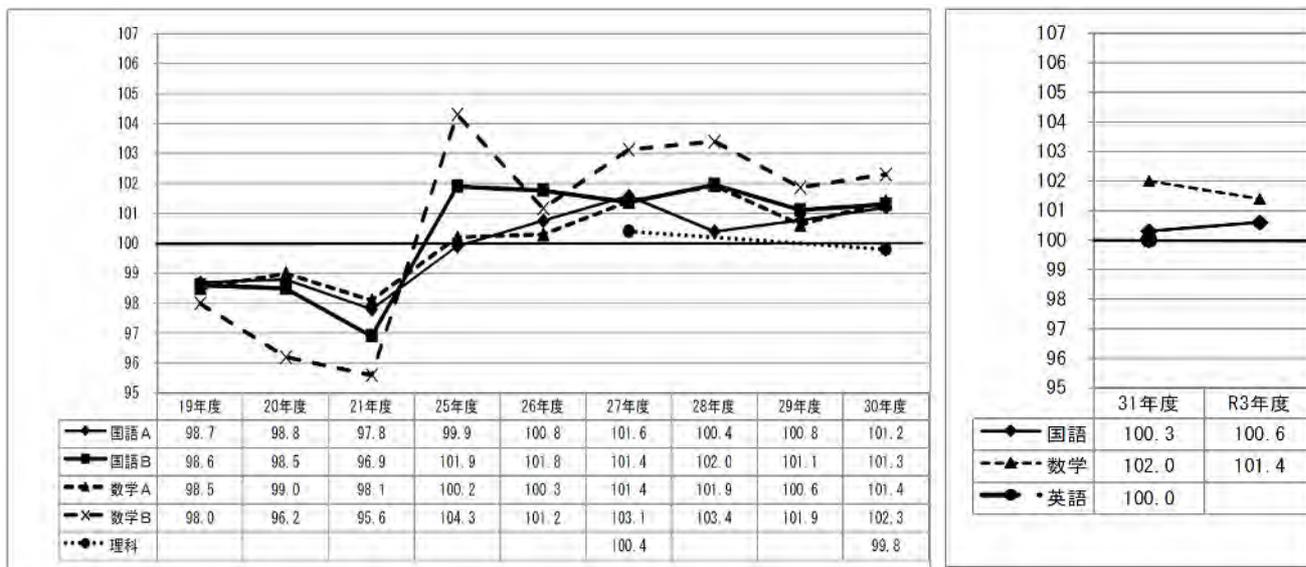
	国語			数学		
	平均正答率	指数	標準偏差	平均正答率	指数	標準偏差
京都市	<b>65</b> (+0.4)	<b>100.6</b>	<b>2.9</b>	<b>58</b> (+0.8)	<b>101.4</b>	<b>3.7</b>
全国	64.6	100	2.8	57.2	100	3.7

※ 指数…全国（公立）の平均正答率を100とした場合の京都市の平均正答率の値

※ 京都市の数値の下の（ ）内は全国値との差

※ 標準偏差…集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。  
標準偏差が0とは、ばらつきがない（データの値が全て同じ）ことを意味する。

### ◆本市の指数の経年変化



※ 平成22年度、24年度は抽出調査のため除く。

※ 平成23年度は東日本大震災のため中止。令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止。

※ 理科（小・中）はH27以降、3年に1度実施。英語（中のみ）は、H31（R1）以降、3年に1度実施予定。

※ 平成31年度（令和元年度）調査より、従来のA・B問題が統合されたため別表とする。

### ◆分析・問題例

#### <国語>

○全体の平均正答率は、全国平均を0.4ポイント上回っています。

○領域別では、全国的な傾向と同様、「書くこと」「読むこと」において、その他の領域（「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」と比較すると低い正答率でした。

#### 正答率が低かった問題例

##### ■大問 2 意見文を書く（言葉の使い方）

- 一 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことができるかどうかをみる問題（選択式）

正答率 **24.4%**（全国平均 **24.8%**） 無解答率 0.3%（全国平均 0.3%）

■大問 3 文学的な文章を読む（吾輩は猫である）

- ・四 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかをみる問題（記述式）

正答率 **27.7%**（全国平均 **20.5%**） 無解答率 19.4%（全国平均 24.1%）

<数学>

○全体の平均正答率は、全国平均を0.8ポイント上回っています。  
○評価の観点別では、全国的な傾向と同様、「数学的な見方や考え方」において、その他の観点（「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」と比較すると低い正答率でした。

正答率が低かった問題例

■大問 6 構想を立てて説明し、発展的に考察すること（4つの数の和）

- ・(3) 数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができるかどうかをみる問題（記述式）

正答率 **30.2%**（全国平均 **30.3%**） 無解答率 26.2%（全国平均 29.9%）

■大問 7 日常的な事象の数学化と問題解決の方法（砂時計）

- ・(2) 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題（記述式）

正答率 **28.7%**（全国平均 **27.7%**） 無解答率 21.0%（全国平均 24.7%）

■大問 8 データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること（キャンプ場の気温）

- ・(3) データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題（記述式）

正答率 **11.8%**（全国平均 **11.1%**） 無解答率 24.9%（全国平均 32.2%）

■大問 9 平行線や角の性質を基に、図形を考察すること（三角定規）

- ・(3) ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができるかどうかをみる問題（短答式）

正答率 **29.5%**（全国平均 **28.8%**） 無解答率 23.3%（全国平均 28.7%）

### 3 児童生徒質問紙調査の結果について

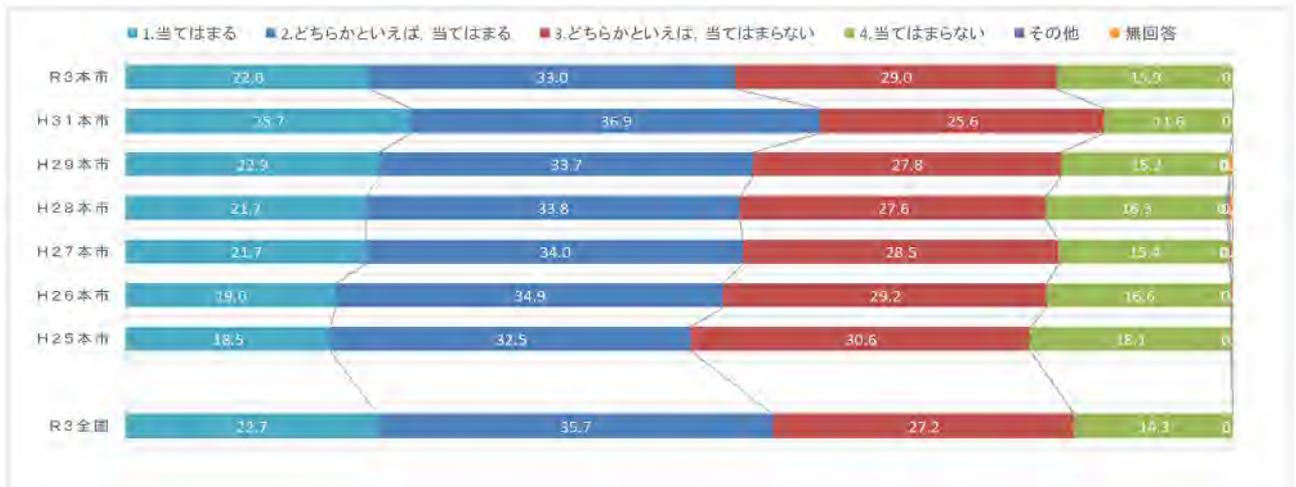
特徴が見られた質問を抽出して掲載しています。質問は年度ごとに異なるため、項目がない年度があります。

#### (1) 各教科に関する質問

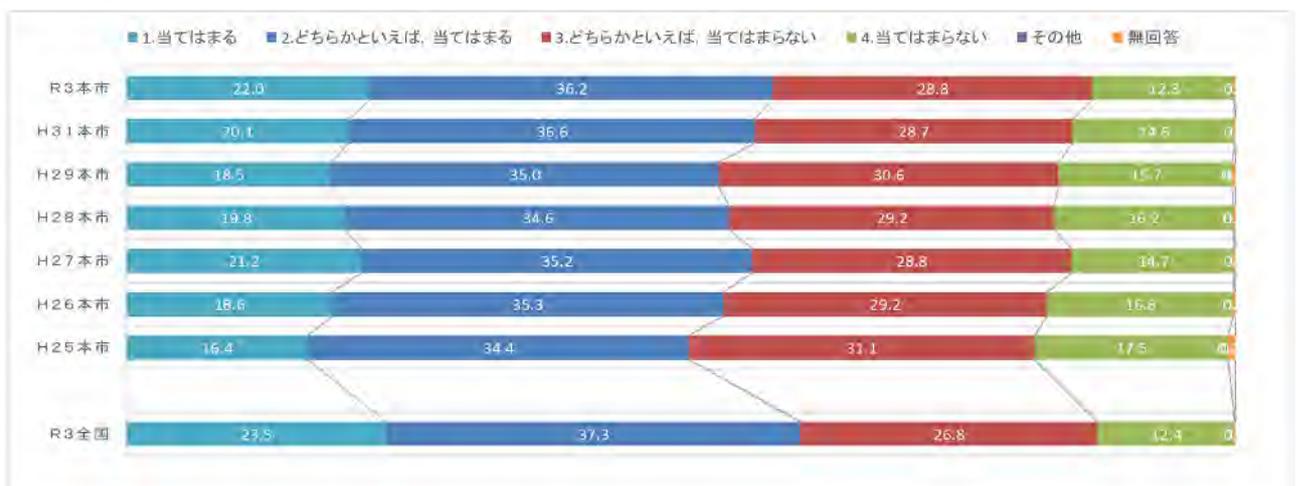
「授業の内容はよく分かりますか」という質問に対する肯定的な回答が年々増えており、全国平均と同程度の水準となっています。

○国語の勉強は好きですか

【小学生】



【中学生】



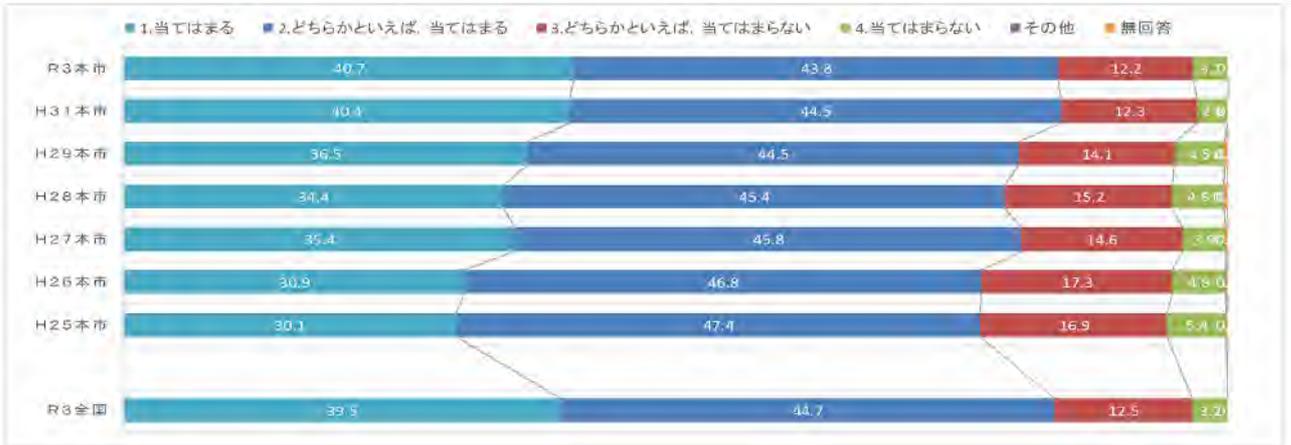
【クロス集計】

\* その他・無回答を除くため、児童生徒数の割合の合計は必ずしも100%とはならない。クロス集計の対象は教科に関する調査（国語、算数・数学）を一つ以上実施し、かつ、児童生徒質問紙調査を実施した児童生徒であるため、児童生徒数割合が上記グラフと一致しない場合がある。（以下同じ）

国語の勉強は好きですか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	22.0%	77.3%	78.5%	22.0%	69.9%	59.8%
どちらかといえば、当てはまる	33.0%	71.4%	74.0%	36.3%	66.3%	57.6%
どちらかといえば、当てはまらない	29.0%	67.4%	73.1%	28.8%	63.4%	58.5%
当てはまらない	15.9%	61.9%	69.3%	12.8%	58.4%	52.9%

○国語の授業の内容はよく分かりますか

【小学生】



【中学生】

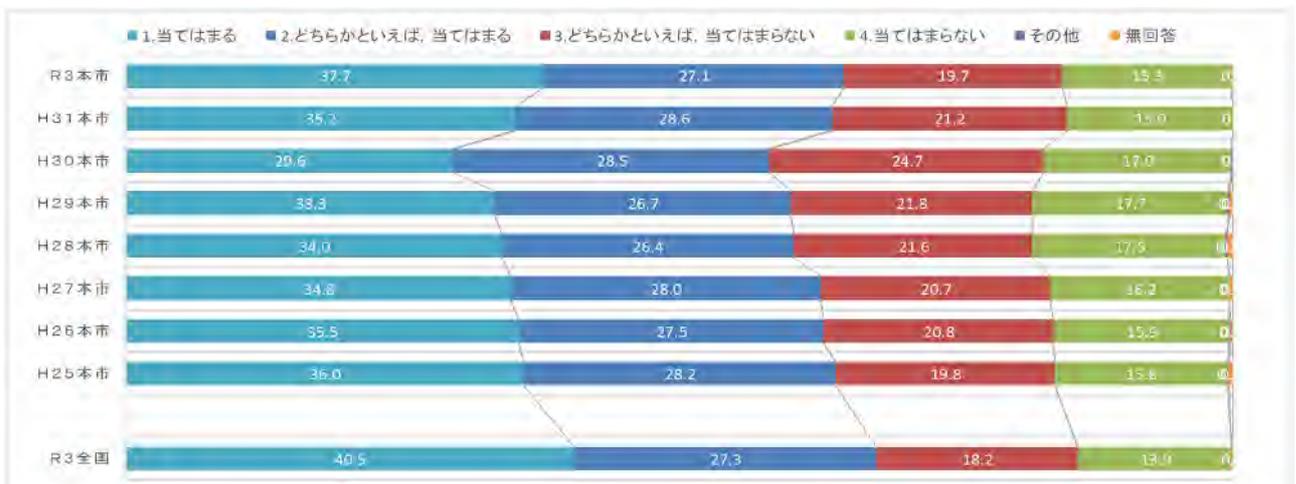


【クロス集計】

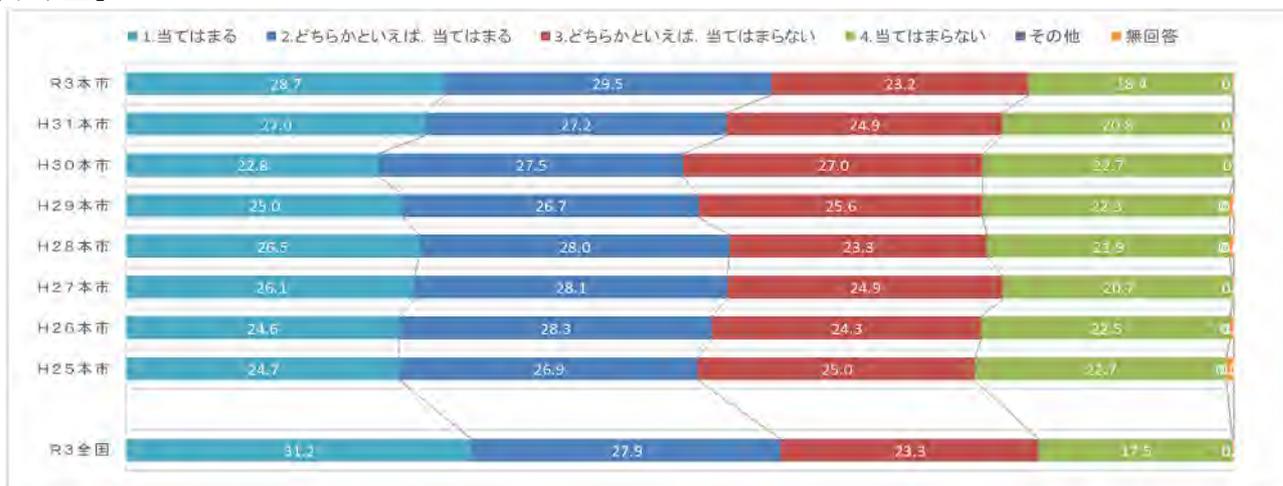
国語の授業の内容はよく分かりますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	40.7%	76.9%	79.7%	30.6%	70.6%	63.0%
どちらかといえば、当てはまる	43.9%	68.1%	72.1%	49.9%	65.5%	57.7%
どちらかといえば、当てはまらない	12.2%	58.7%	65.5%	15.1%	57.8%	51.1%
当てはまらない	3.1%	53.5%	60.2%	4.2%	50.5%	44.7%

○算数（数学）の勉強は好きですか

【小学生】



【中学生】

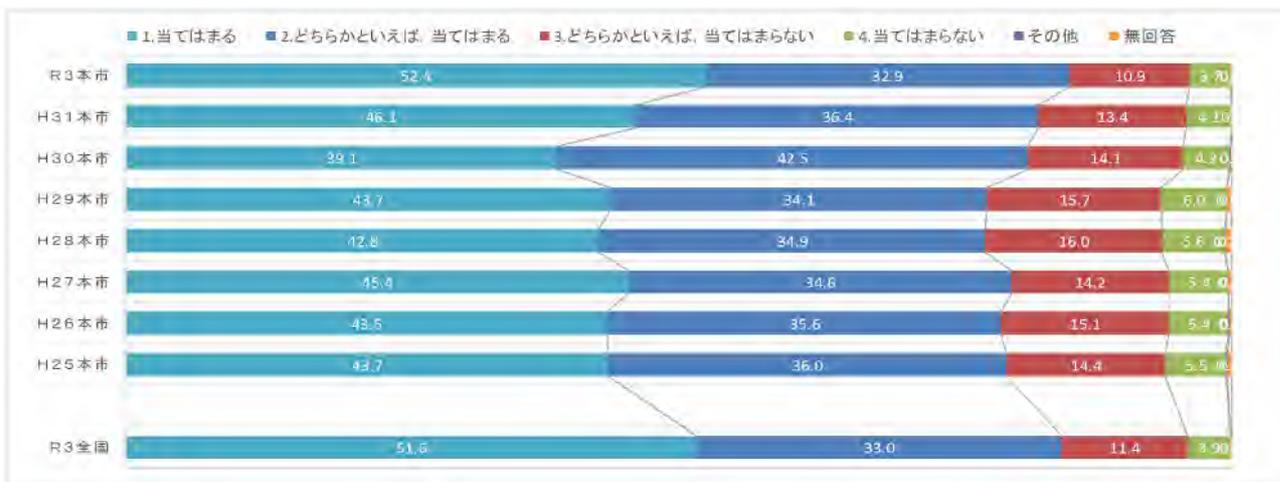


【クロス集計】

算数（数学）の勉強は好きですか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	37.7%	74.5%	81.4%	28.7%	68.0%	66.5%
どちらかといえば、当てはまる	27.1%	70.1%	74.0%	29.5%	65.6%	59.5%
どちらかといえば、当てはまらない	19.7%	67.2%	68.6%	23.2%	64.5%	53.9%
当てはまらない	15.3%	62.7%	62.8%	18.4%	61.3%	46.2%

○算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】

算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	52.4%	74.9%	80.6%	35.5%	68.8%	66.0%
どちらかといえば、当てはまる	32.9%	67.8%	70.8%	40.3%	65.5%	57.7%
どちらかといえば、当てはまらない	10.9%	58.5%	58.8%	16.6%	60.7%	48.1%
当てはまらない	3.7%	54.9%	53.5%	7.4%	57.4%	40.0%

（２）主体的・対話的で深い学びに関する質問

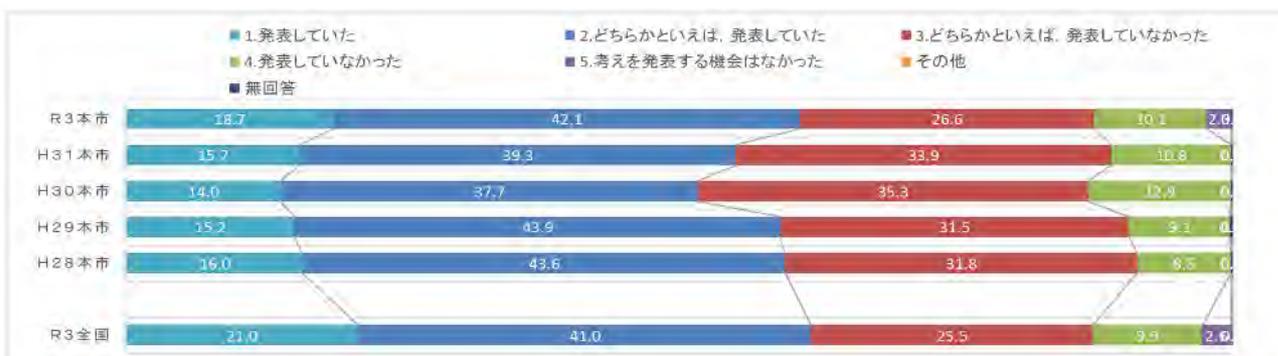
正答率との相関関係が高い（※質問に対する回答が肯定的であるほど正答率が高くなる（または低くなる）関係）質問であることが確認できます。本市の状況としては年々改善してきており、授業改善の取組がすすんでいることがうかがえます。ただし、全国と比較するとまだ低い水準にとどまっている部分もあります。

○５年生までに（１，２年生のときに）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

【小学生】



【中学生】

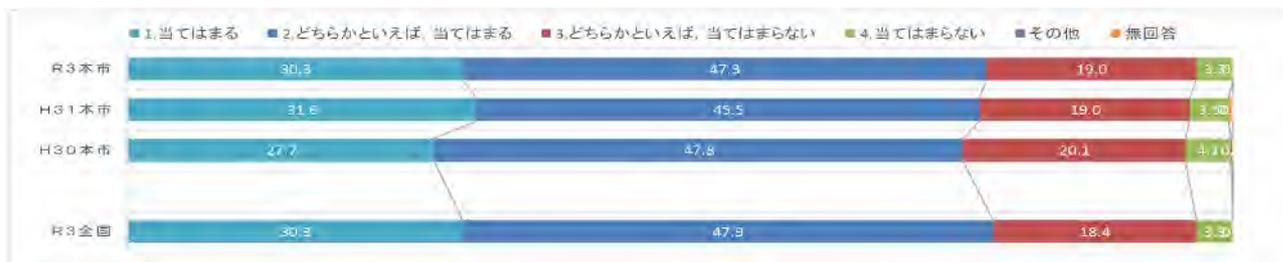


【クロス集計】

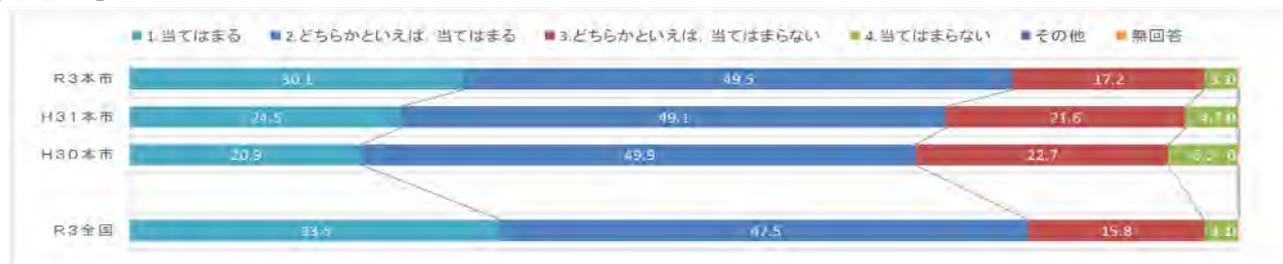
授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
発表していた	23.9%	77.7%	81.2%	18.7%	70.1%	63.7%
どちらかといえば、発表していた	39.1%	71.5%	75.3%	42.2%	68.4%	61.9%
どちらかといえば、発表していなかった	25.5%	65.1%	69.3%	26.7%	60.8%	52.4%
発表していなかった	9.7%	60.9%	65.7%	10.1%	56.7%	45.7%
考えを発表する機会はなかった	1.7%	56.7%	61.0%	2.3%	56.5%	46.6%

○5年生までに（1，2年生のときに）受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいましたか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】

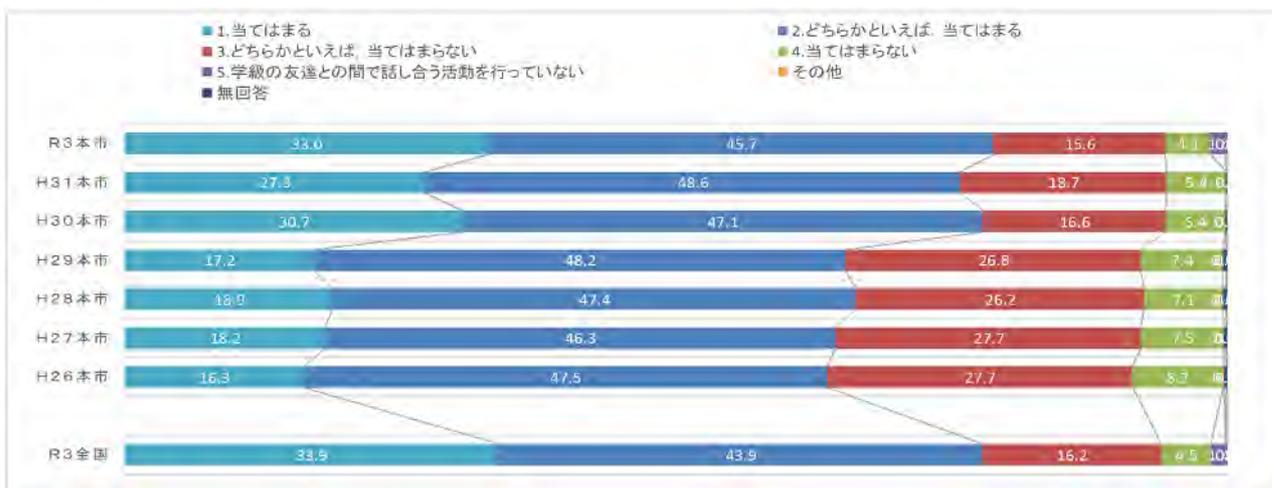
授業では課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいましたか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	30.4%	76.6%	80.6%	30.1%	70.1%	65.0%
どちらかといえば、当てはまる	47.3%	70.6%	74.4%	49.6%	66.2%	58.8%
どちらかといえば、当てはまらない	19.0%	61.1%	65.2%	17.1%	57.2%	46.0%
当てはまらない	3.3%	54.1%	58.3%	3.0%	47.4%	33.2%

○学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができますか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】

話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	35.2%	74.8%	78.5%	33.1%	68.7%	62.0%
どちらかといえば、当てはまる	45.4%	69.8%	73.5%	45.7%	66.4%	59.4%
どちらかといえば、当てはまらない	15.9%	62.6%	67.9%	15.7%	58.8%	49.1%
当てはまらない	2.8%	58.9%	62.2%	4.0%	52.8%	41.9%
学級の友達との間で話し合う活動を行っていない	0.6%	60.3%	63.6%	1.4%	56.2%	44.8%

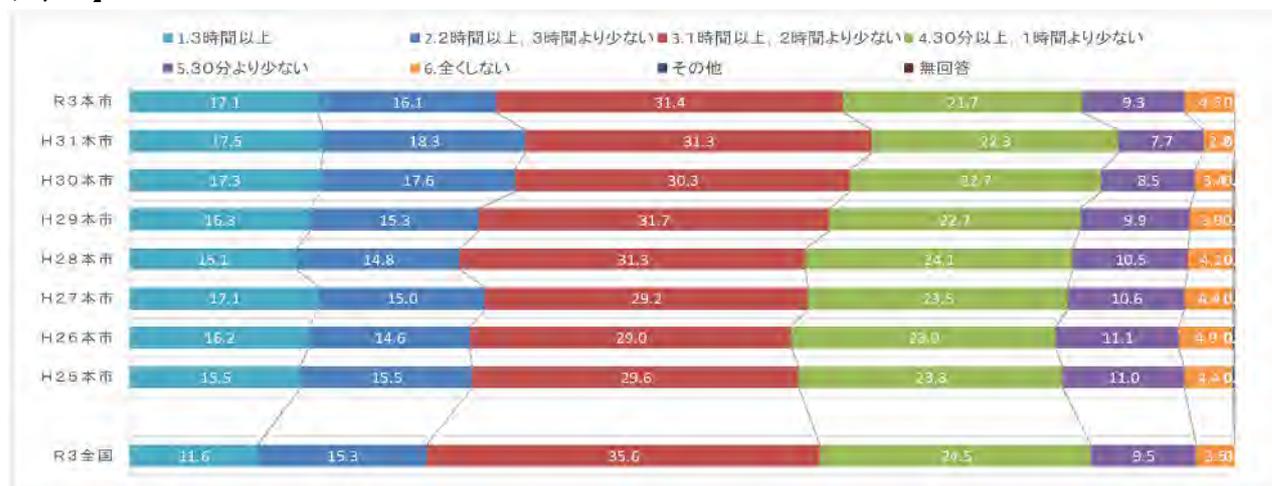
(3) 学習時間・家庭学習

特に中学生での改善が見られます。引き続き、平日・土日とも一定の学習時間を確保していくことが大切です。

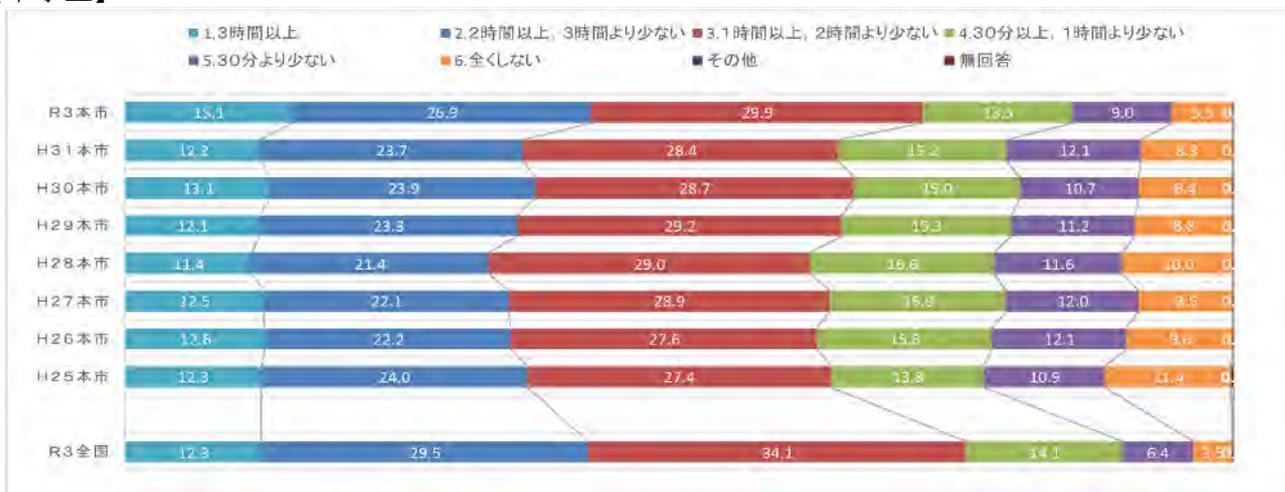
また、「平日2時間以上」「土日3時間以上」など、多くの時間を学習に向けている子どもも多くいる一方で、「平日30分未満」「土日1時間未満」という回答は全国より多く、家庭学習時間が二極化している状況がうかがえます。

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

【小学生】



【中学生】

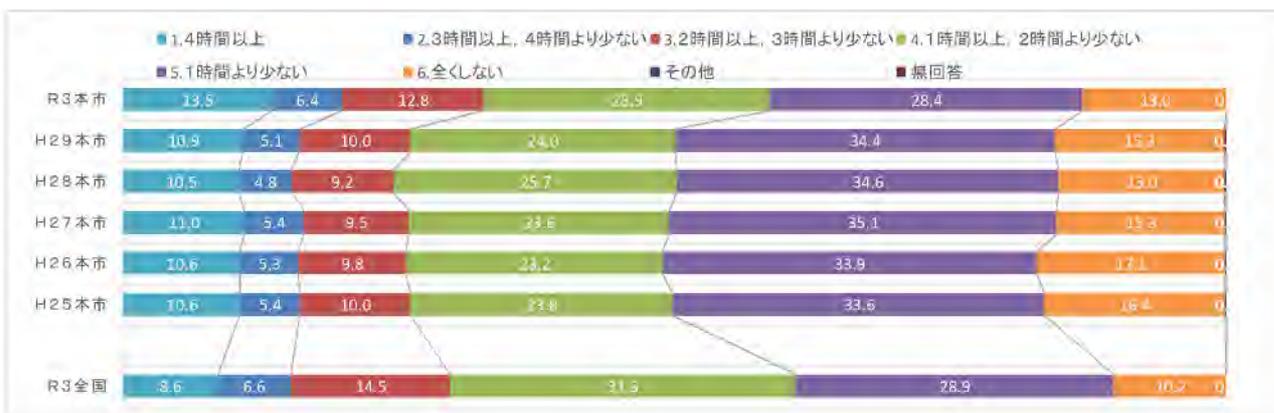


【クロス集計】

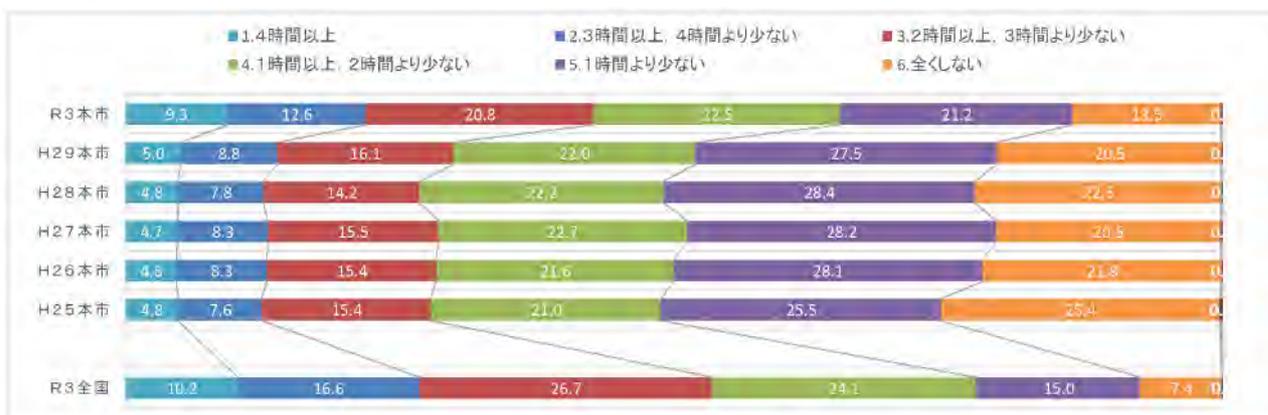
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
3時間以上	17.1%	81.6%	84.7%	15.1%	69.6%	64.5%
2時間以上, 3時間より少ない	16.1%	72.6%	76.0%	26.9%	67.2%	60.7%
1時間以上, 2時間より少ない	31.4%	69.4%	73.9%	30.0%	65.0%	57.3%
30分以上, 1時間より少ない	21.7%	66.8%	70.4%	13.5%	64.7%	56.3%
30分より少ない	9.3%	61.5%	65.7%	9.0%	60.8%	50.4%
全くしない	4.5%	55.4%	61.3%	5.4%	53.2%	41.9%

○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

【小学生】



【中学生】

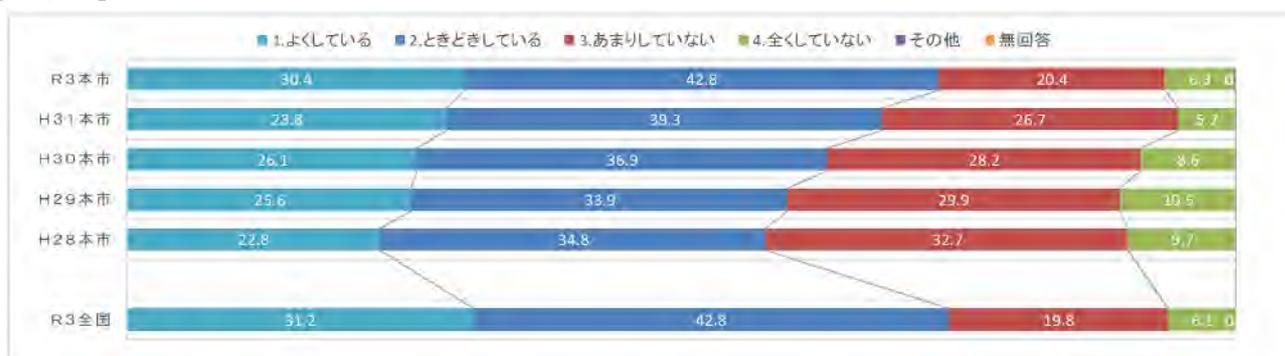


【クロス集計】

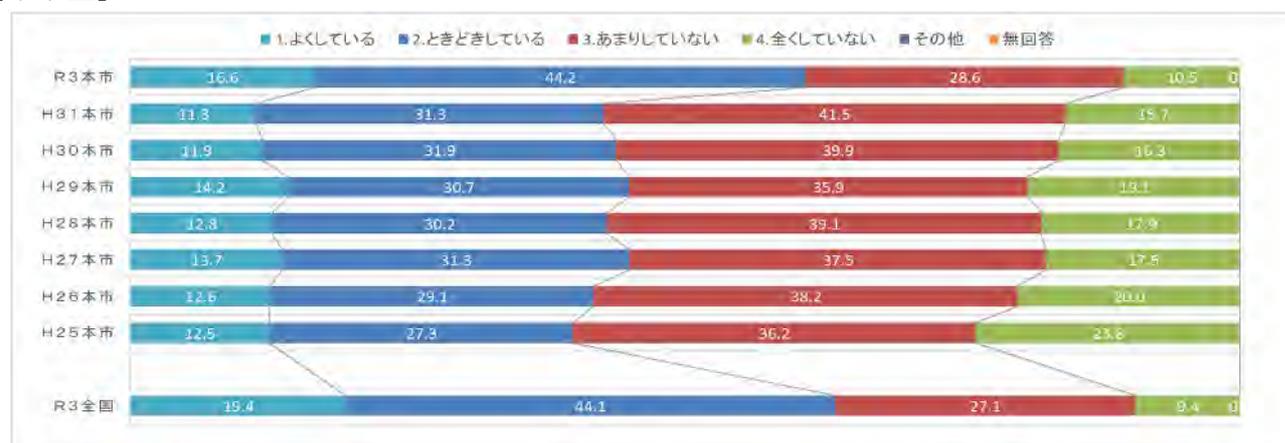
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
4時間以上	13.5%	83.6%	86.9%	9.3%	73.0%	69.2%
3時間以上、4時間より少ない	6.4%	74.3%	78.9%	12.6%	70.6%	65.0%
2時間以上、3時間より少ない	12.8%	72.3%	75.7%	20.8%	67.5%	61.0%
1時間以上、2時間より少ない	25.9%	69.7%	73.5%	22.5%	66.0%	58.0%
1時間より少ない	28.4%	66.9%	70.7%	21.2%	61.7%	52.8%
全くしない	13.0%	59.2%	64.7%	13.4%	55.7%	45.1%

○家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】

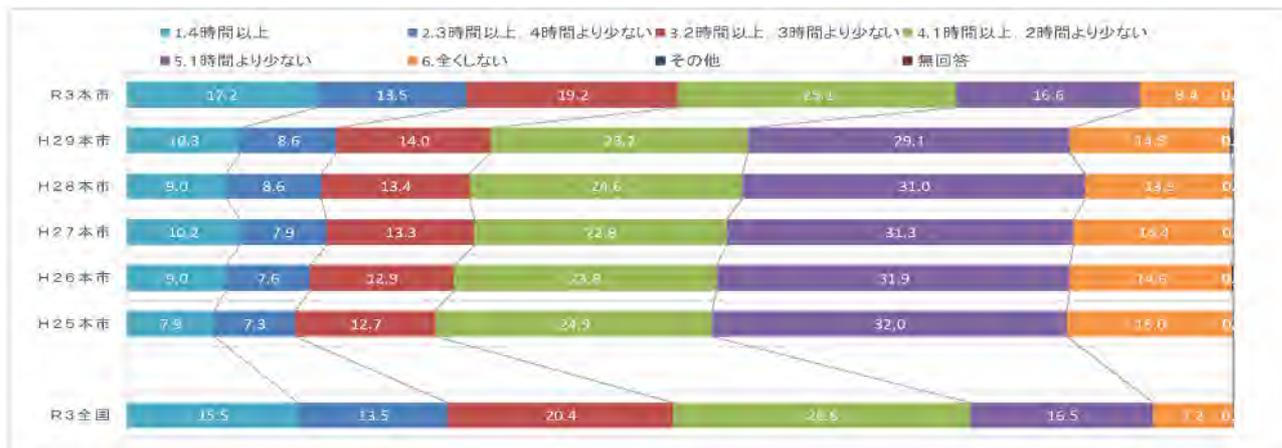
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
よくしている	30.4%	76.5%	79.9%	16.6%	70.3%	65.0%
ときどきしている	42.9%	69.0%	72.8%	44.2%	65.6%	58.3%
あまりしていない	20.4%	65.4%	70.0%	28.6%	63.6%	55.2%
全くしていない	6.3%	61.4%	66.7%	10.5%	60.2%	50.7%

#### (4) 基本的生活習慣

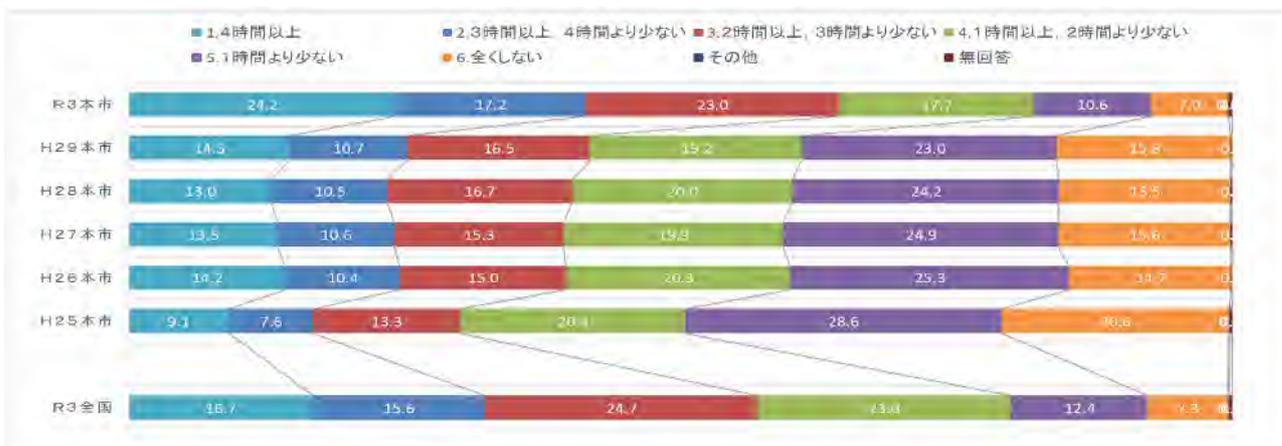
テレビゲーム等の時間が多いほど正答率は低くなる傾向にあり、相関が見られます。直近の状況と比較して大幅に時間が増えており、中学生においては全国と比較しても時間が長い状況です。

○普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

##### 【小学生】



##### 【中学生】



##### 【クロス集計】

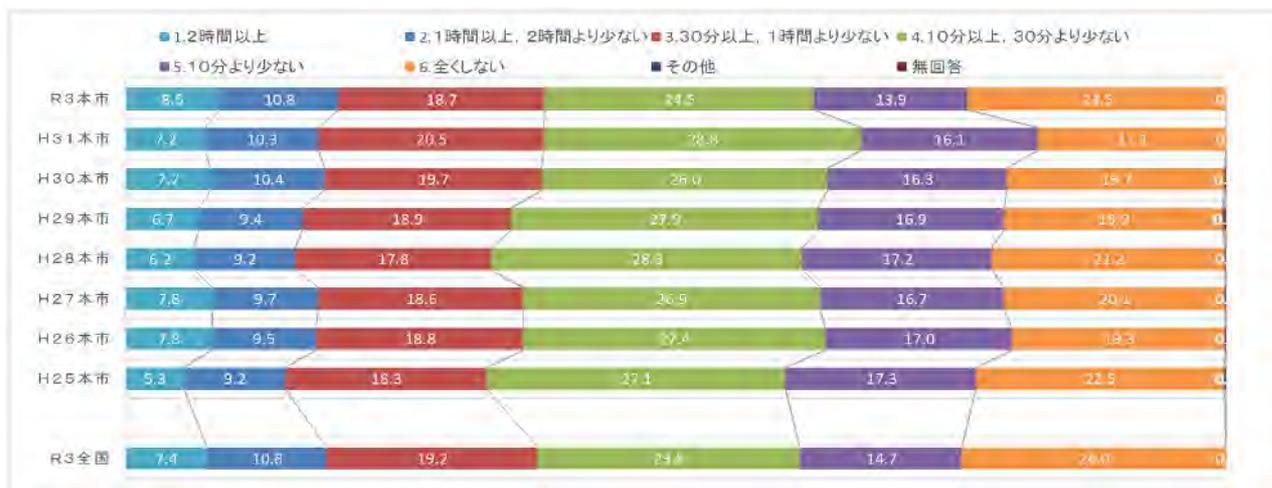
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
4時間以上	17.2%	60.2%	64.5%	24.1%	58.3%	48.7%
3時間以上, 4時間より少ない	13.5%	64.3%	69.0%	17.2%	63.3%	54.2%
2時間以上, 3時間より少ない	19.2%	68.3%	73.1%	23.0%	65.7%	59.4%
1時間以上, 2時間より少ない	25.1%	72.2%	76.1%	17.7%	69.1%	63.2%
1時間より少ない	16.6%	77.5%	80.7%	10.6%	72.0%	65.7%
全くしない	8.4%	82.2%	84.2%	7.0%	72.3%	66.5%

## (5) 読書

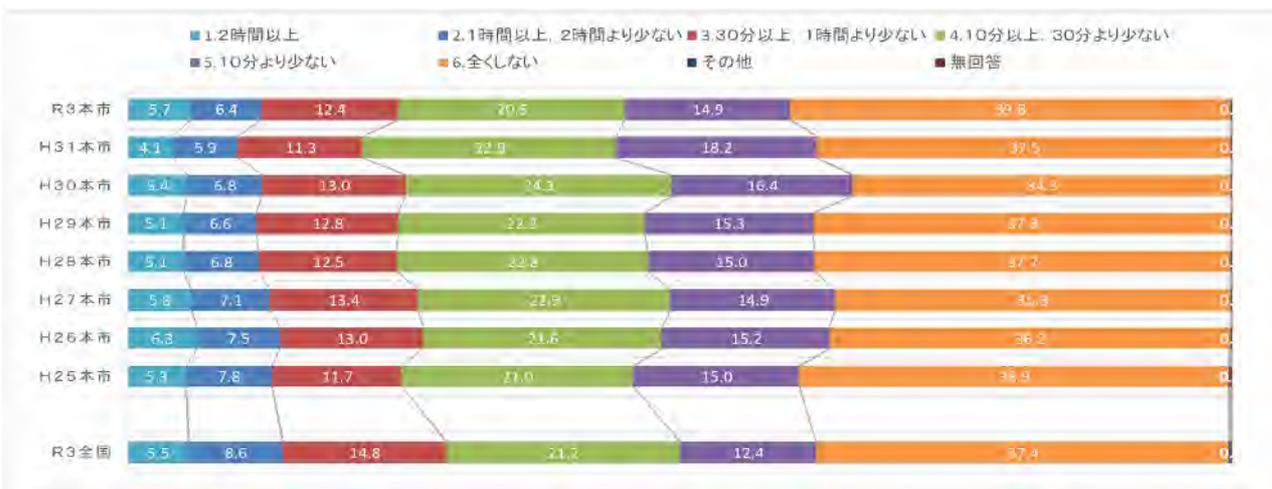
前回と比較して、「1時間以上」の割合が増えていますが、「全くしない」の割合も増えていきます。特に中学生においては約4割の子どもが「全くしない」と回答しており、読書離れがさらに進んでいることがうかがえます。読書時間が10分より少ない子どもは、正答率が平均より低い傾向が見られます。

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

### 【小学生】



### 【中学生】

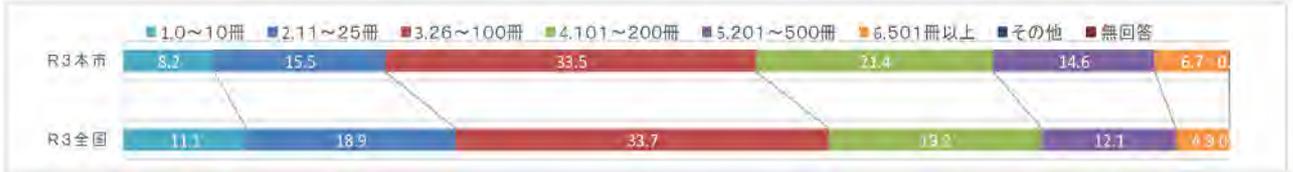


### 【クロス集計】

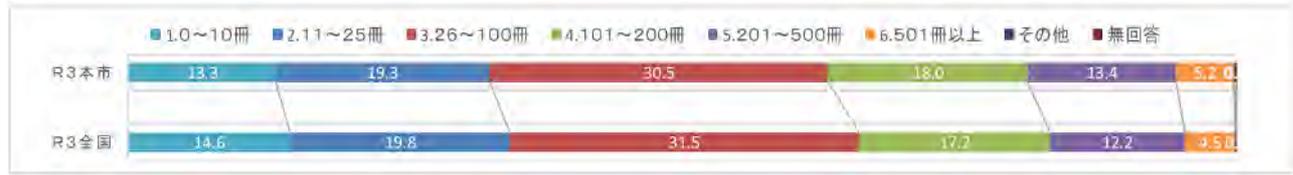
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
2時間以上	8.5%	74.3%	76.1%	5.7%	65.8%	56.0%
1時間以上, 2時間より少ない	10.8%	74.4%	76.6%	6.4%	68.0%	58.2%
30分以上, 1時間より少ない	18.7%	73.5%	77.2%	12.4%	69.5%	60.8%
10分以上, 30分より少ない	24.5%	71.3%	75.5%	20.6%	70.0%	62.7%
10分より少ない	13.9%	66.4%	70.3%	14.9%	65.5%	58.8%
全くしない	23.5%	64.6%	70.1%	39.7%	60.8%	53.9%

○あなたの家には、およそどのくらい本がありますか（雑誌，新聞，教科書は除く）

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】

あなたの家には、およそどのくらい本がありますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
0～10冊	8.2%	57.3%	61.5%	13.3%	54.5%	45.3%
11～25冊	15.5%	62.2%	65.9%	19.3%	61.6%	54.2%
26～100冊	33.5%	70.1%	73.9%	30.6%	66.0%	59.2%
101～200冊	21.4%	73.9%	78.1%	18.0%	69.4%	61.6%
201～500冊	14.6%	76.7%	80.6%	13.4%	71.4%	64.0%
501冊以上	6.7%	76.8%	80.5%	5.2%	71.5%	64.7%

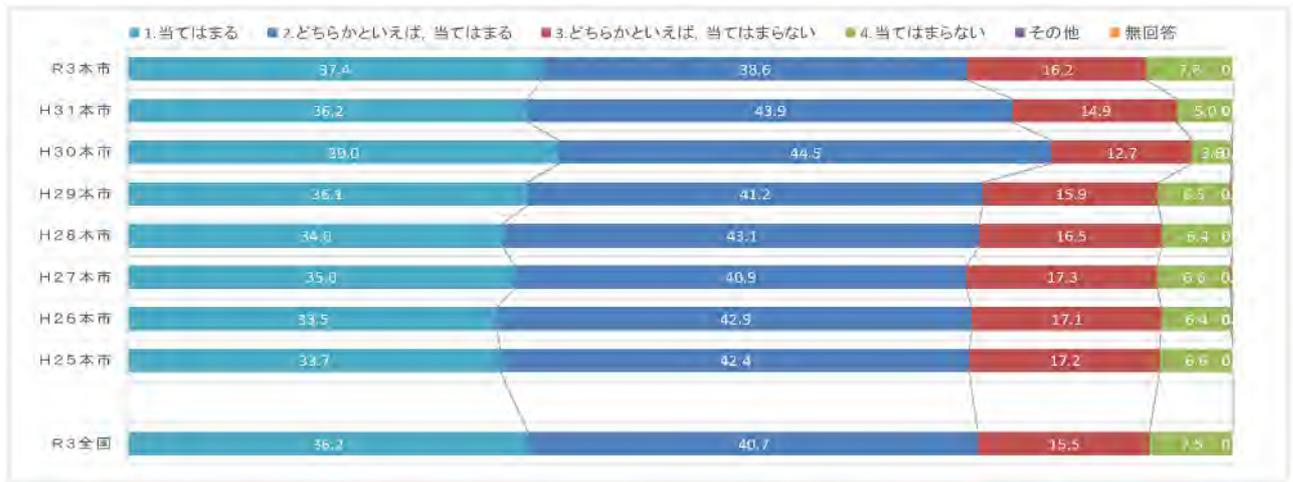
(6) 自己肯定感，規範意識等

「自分にはよいところがあると思いますか」「いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか」との質問について，特に中学生において肯定的な回答が年々増えています。

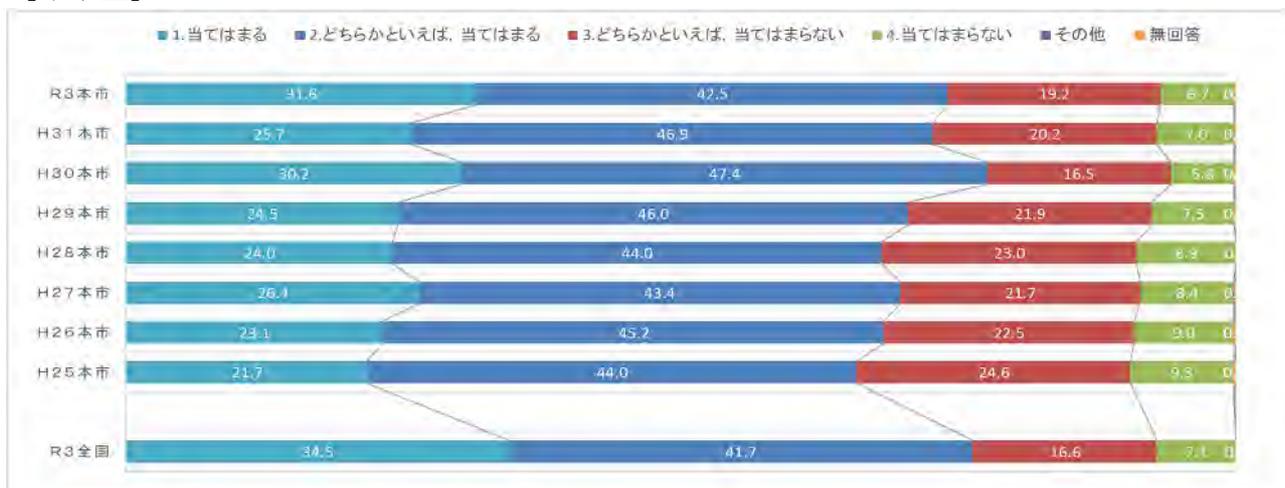
一方で，全国的な傾向と同様ですが，「将来の夢や目標を持っていますか」との質問への肯定的な回答は年々減っています。

○自分には，よいところがあると思いますか

【小学生】



【中学生】

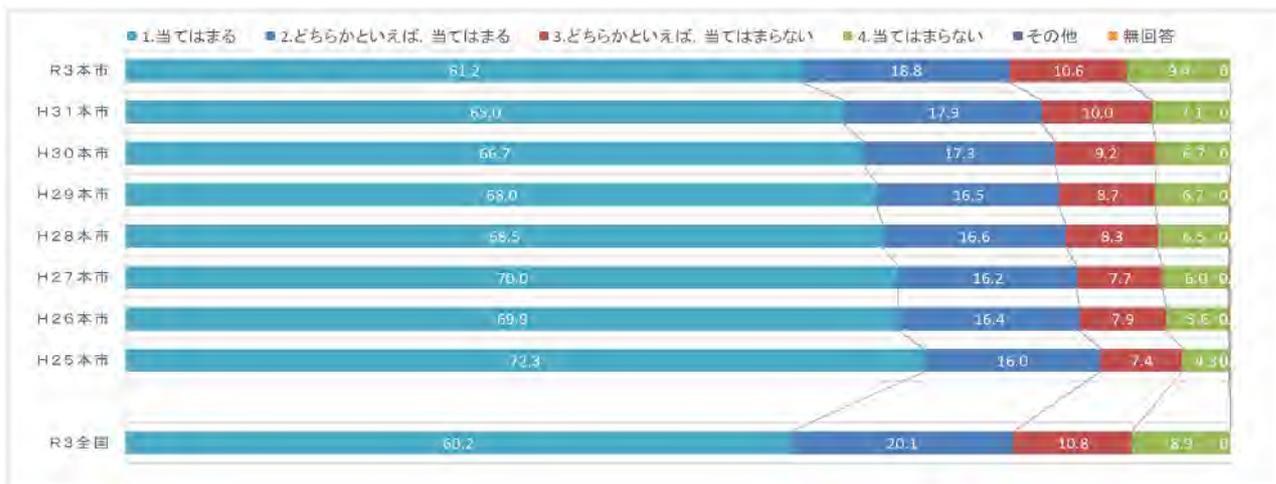


【クロス集計】

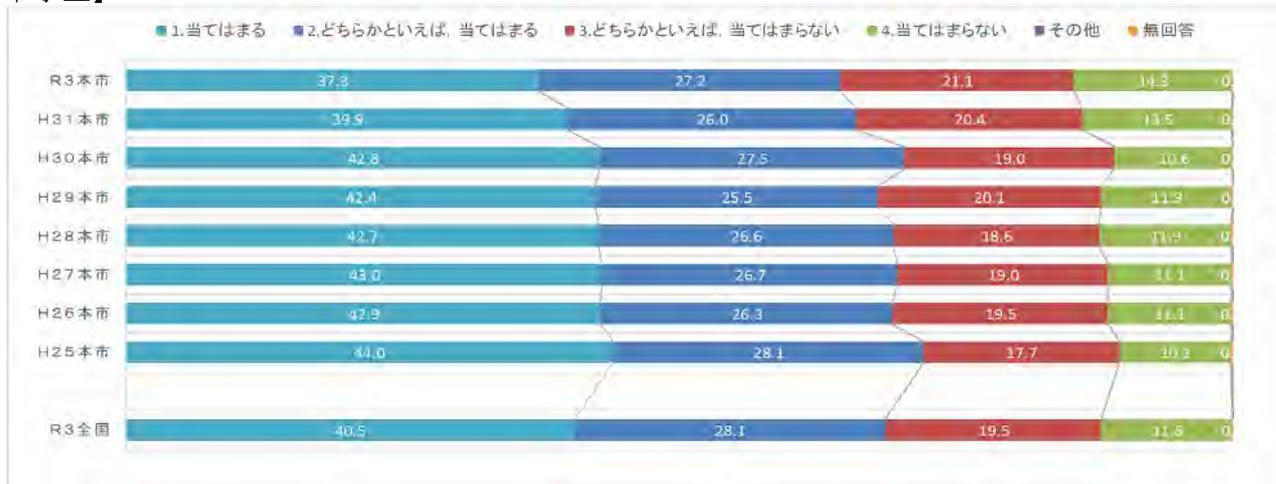
自分には、よいところがあると思いますか	本市立小学校		本市立中学校	
	児童数割合	平均正答率 国語 算数	生徒数割合	平均正答率 国語 数学
当てはまる	37.4%	73.0% 76.9%	31.6%	65.3% 58.5%
どちらかといえば、当てはまる	38.6%	69.8% 73.6%	42.5%	66.3% 59.6%
どちらかといえば、当てはまらない	16.2%	65.9% 70.6%	19.2%	64.2% 55.1%
当てはまらない	7.8%	65.4% 68.9%	6.6%	61.3% 49.9%

○将来の夢や目標を持っていますか

【小学生】



【中学生】

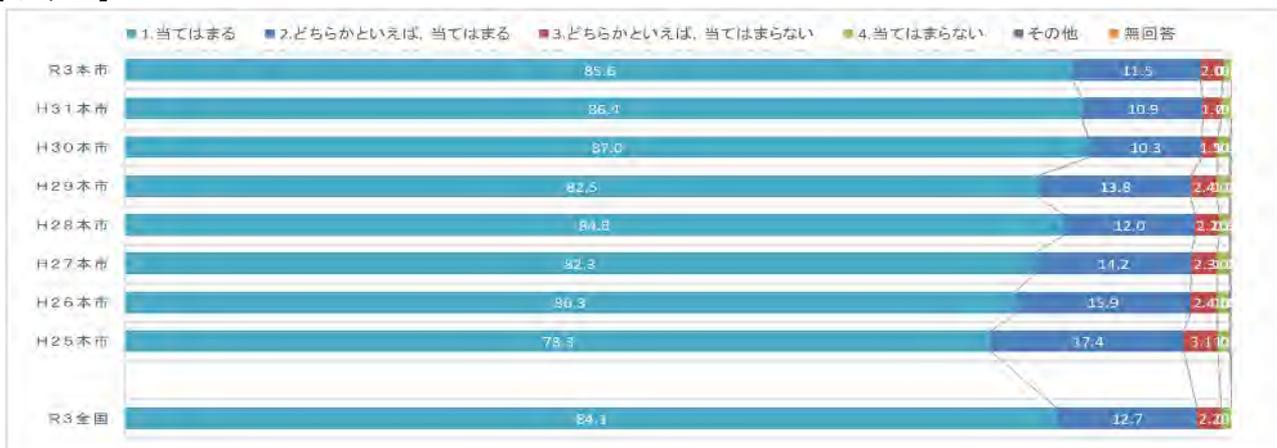


【クロス集計】

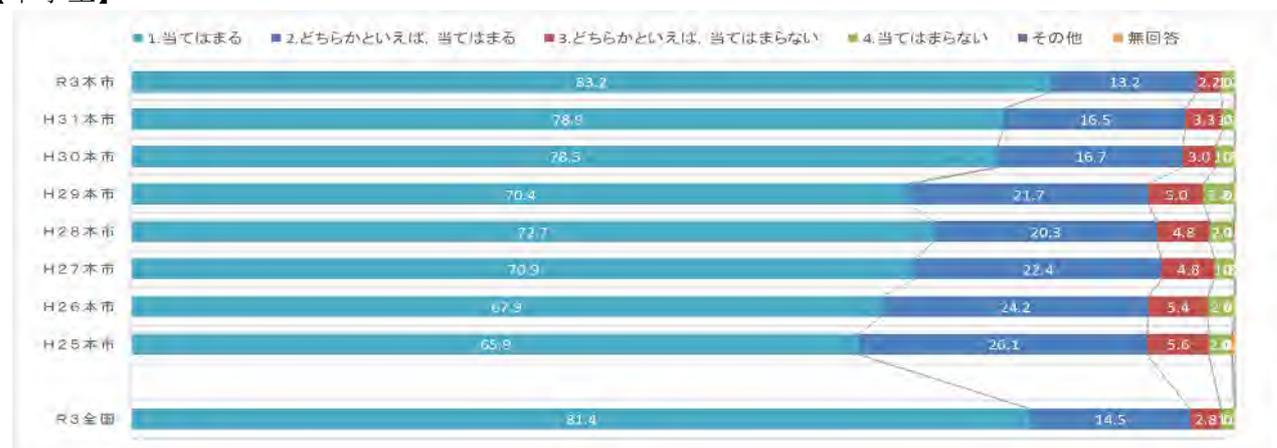
将来の夢や目標を持っていますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	61.2%	70.6%	74.0%	37.3%	63.8%	56.0%
どちらかといえば、当てはまる	18.8%	69.9%	74.2%	27.2%	67.0%	59.7%
どちらかといえば、当てはまらない	10.6%	70.3%	75.2%	21.1%	67.2%	60.2%
当てはまらない	9.3%	66.6%	71.8%	14.3%	62.6%	54.7%

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	85.6%	70.5%	74.2%	83.2%	65.1%	57.6%
どちらかといえば、当てはまる	11.5%	67.9%	73.3%	13.2%	66.5%	59.1%
どちらかといえば、当てはまらない	2.0%	64.7%	68.7%	2.2%	62.1%	54.2%
当てはまらない	0.8%	64.9%	70.6%	1.2%	61.8%	55.1%

○自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】

自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	本市立小学校		本市立中学校	
	児童数割合	平均正答率 国語 算数	生徒数割合	平均正答率 国語 数学
当てはまる	33.7%	72.4% 76.3%	29.1%	65.9% 59.8%
どちらかといえば、当てはまる	49.7%	70.3% 74.1%	52.0%	65.7% 58.3%
どちらかといえば、当てはまらない	14.7%	65.2% 69.7%	16.4%	63.1% 53.6%
当てはまらない	1.9%	59.9% 63.4%	2.4%	60.9% 49.5%

○学校に行くのは楽しいと思えますか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】

学校に行くのは楽しいと思えますか	本市立小学校		本市立中学校	
	児童数割合	平均正答率 国語 算数	生徒数割合	平均正答率 国語 数学
当てはまる	47.8%	72.2% 75.8%	44.9%	65.4% 59.4%
どちらかといえば、当てはまる	35.4%	69.6% 73.6%	37.9%	65.7% 57.8%
どちらかといえば、当てはまらない	11.8%	65.3% 70.5%	11.8%	65.1% 54.9%
当てはまらない	4.9%	64.3% 67.5%	5.3%	60.7% 49.5%

## 4 京都市の学力向上の取組

本市では、子どもたちが身につけておくべき「確かな学力」を、「基礎的・基本的な知識・技能」、「習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」、「学ぼうとする意欲」、「生涯にわたって学び続ける力」と定義しています。また、教職員の実践はもとより、保護者・地域の皆様のご協力のもと、「確かな学力」とともに、「豊かな心」、「健やかな体」の調和のとれた育成を目指しています。

### (1) 京都市小中一貫学習支援プログラムの実施及び結果分析に基づいた授業改善

本市では、小・中学校の接続を考え、宿題を含む予習や復習と既習事項が定着したかどうかを見取る確認テストなどを通して、自学自習の学習習慣（計画→事前学習→確認テスト→結果→事後学習）を身につけるためのプログラムを実施しています。

確認テストを通して、子どもたちがつまずきやすいポイントや定着に課題が多い単元・領域に関するデータが蓄積されています。それらのデータや全国調査の結果をもとに、本市独自の分析システムにより多面的な結果分析を行い、授業改善に活かしています。

**ご家庭においても、確認テストの実施後に返却される、苦手なところや得意なところなどをまとめた結果資料を子どもたちと一緒にご覧いただき、自学自習の習慣化に向けて、話し合ってみてください。また、本プログラムで配布される事前学習教材や事後学習教材等もご活用ください。**

また、小・中学校入学時（小中学校においては入学時及び後期課程進学時）に子どもたちへ配布している冊子「自学自習のすすめ」において、学力向上を図るうえで大切な家庭学習のヒントをわかりやすくまとめています。是非ご一読ください。

### (2) G I G Aスクール構想の推進

G I G Aスクール構想とは、一人一台の学習用コンピュータ（G I G A端末）と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、すべての子どもたちに対して、それぞれに適した学びを提供し、資質・能力を育成するための教育 I C T環境を実現する取組のことで、これまでの教育実践と I C Tのベストミックスを図ることで、子どもたちの力を最大限に引き出すことを目指します。本市においては、令和3年9月から「本格活用期」とし、各校において実践を展開しています。

### (3) 小中一貫教育の更なる推進・充実、保幼小連携・接続の取組

本市では、全ての中学校区において、義務教育卒業時の「目指す子ども像」とその実現に向けた「つきたい力」と「軸となる取組・活動」などを明らかにした「小中一貫教育構想図」を作成し、具体的な実践に取り組むなど、小中一貫教育の充実を図っています。

また、幼稚園・保育園（所）・認定こども園等の就学前施設で培われた学びと育ちを小学校教育に円滑に接続できるよう、就学前施設と小学校が連携するとともに、小学校では入学直後の子どもたちも安心して学習に取り組める環境を整えるため、「スタートカリキュラム」の編成・実践を進めています。

### (4) 授業等での指導の工夫・改善

各校における日々の授業において、最初に学習の「めあて」の提示、最後に「まとめ・ふりかえり」を実施し、子どもたちの主体性や学習意欲を引き出す「学び合い」のある授業づくりの工夫等、従来からの取組をさらに高めるとともに、校長のリーダーシップのもと「教職員が主体的に組織的な指導を徹底して行う」学校組織とチェック体制づくり、社会に開かれた教育課程にもとづいた実践を進めています。

### (5) 保護者・地域との連携による家庭学習への支援

本市では、学校運営協議会（令和2年10月末現在251校園に設置。幼・小・中・小中・総合支援学校は全校園設置）をはじめ、地域の方々・保護者・学生ボランティアの参画のもと、「放課後まなび教室」<sup>\*1</sup>、「未来スタディ・サポート教室」<sup>\*2</sup>などの取組により、家庭学習や自学自習の習慣の確立、基礎学力の定着に努めています。

教室での学習だけではなく、学校運営協議会や地域が主催する行事などにおける自然体験や伝統文化体験などの体験学習、防災・安全の取組など、子どもたちが地域の方と交流する活動も大切にしています。これらの取組は、地域の方々に支えられているという意識や、地域の一員として主体的に関わろうとする意識を子どもたちに育む貴重な機会として、学力の基盤を形成する学ぶ意欲や態度だけでなく、自尊感情や自己有用感を高めていくものと期待しています。

その他、「本大好きな」子どもの育成を目的とする読書ノートを活用した「めざせ100冊！読書マラソン」運動<sup>※3</sup>や規範意識を育むためのあいさつ運動、情報モラルに関する取組など、学校、家庭、地域が一体となった一つ一つの着実な取組の継続が、本市の子どもたちの学力を支えています。

- ※1 「放課後まなび教室」…平成21年度から全ての小学校区で、学校運営協議会や保護者、地域、学生等の方々の参画を得ながら、放課後の子どもたちに学習の習慣づけを図る『自主的な学びの場』と『安心・安全な居場所』として、運営しています。
- ※2 「未来スタディ・サポート教室」…平成29年度以降すべての中学校で、放課後等に基礎学力の定着を図るための学習支援を行っています。
- ※3 「めざせ100冊！読書マラソン」運動…100冊読破達成児童数は令和2年度25,200人（全児童の41.5%）でした。